

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp<https://jhu-wing.main.jp/>

原職復帰の回答に向けて

11月2日 交渉（団交）報告：その3

会社：門戸を開いた！？

→ 試験(面接)を受けたら全員不合格？！

門戸を開いただけでは解雇問題は解決しない！！

【JHU】乗務職としての4名の原職復帰の要求に対し、会社は「整理解雇者の原職復帰はあり得ない」と回答してきた。しかし、前回（10/3）の交渉で、整理解雇者を1名採用していることが分かった。会社の立場は「整理解雇者の原職復帰はあり得る」に変わったと受け止める。

《会社》通常の試験を受けて入るとのことだ。

【JHU】会社の立場でも、整理解雇者も原職に戻れるということだ。どうしたら戻れるのか。

《会社》採用の門戸は開いている。

【JHU】門戸を開いただけで、前回、原告になっていた者の応募者を全員落としている。

《会社》意図を込めて落としている訳ではない。結果的にそうなったということだ。

【JHU】我々が要求している4名はどうしたら戻れるのか。

《会社》経験者採用等がもしあれば、そこに応募をして頂いて・・・

【JHU】応募さえすれば採用されるのか。

《会社》同じ条件で採用試験を受けて頂き、採用のプロセスを踏まえて合否を決定する。

【JHU】前回21人面接を受け、会社は全員を不合格にした。165名は全員同じ乗務職として長年働いてきた人間だ。どうして面接で落ちるのか。

整理解雇者1名採用：どうしたら採用されるのか条件を示せ！

採用試験は要らない！ILO 勧告に従い優先雇用せよ！！

《会社》採用プロセスを踏まえて、基準を超えれば合格となる。ただ募集の定員があるので、その中でフラットな目で見判断していく。

【JHU】前回、2回面接試験を受け落ちている。これは非常に重要な問題だ。

《会社》公平に門戸は開いている。

【JHU 代理人】何が公平なのか。

《会社》他の方々も含めて、通常の採用プロセスを踏まえて合否を決定していく。

【JHU】通常の採用プロセスで戻った人がいる。どうやったら採用されるのか、何か条件があるだ

ろう。4名はその条件に合致しないからダメだと言えいい。

《会社》・・・(沈黙)。解決交渉の過程で、門戸を開いた。

【JHU】今、交渉はその先に行っている。4名はどういう条件を満たしたら採用されるのか。

《会社》何もやっていないようだが、一歩ずつやって来ている。

【JHU 代理人】では、もう一歩行きましょう。元々何かマイナスがあつて解雇された訳ではない。会社の経営上の事情で解雇されただけだ。労働

者に落ち度はない。今経営が安定しているのだから戻せばいい。採用試験はいい。

《会社》もう一歩だと言われていることは理解する。

ただ、我々は公平な試験を受けて頂いたうえで、合格した方には入って頂くというスタンスだ。

【JHU 代理人】労働者に非違行為または勤怠があったか、何か問題があって解雇したのではない。

《会社》仰る通りだ。

【JHU 代理人】だったら今の状況で戻すことはできる。採用プロセスはいいと言っているのが我々の要求だ。ちゃんと検討してください。

解決金の回答に向けて

「辞めた方がいる」「関係者に迷惑をかけた」ら

何故、解決金が払えないのか？

会社には、誰が聞いても納得できる

論理的な説明をする責任がある！！

【JHU】前回（10/3）の交渉で、会社は「辞めた社員」「多大な迷惑をかけた関係者」の2者に対する責任は会社にあり、整理解雇者には責任がないことを認めた。かつ、整理解雇者にも迷惑をかけたことを認めた。また、この2者が理由で解決金が払えないのは何故かという質問には、会社は「おかしな論理ですね」「その方たちに申し訳ないと思ってくださいと言うつもりはありません」「論理が伝わっていないのだと思います」と答えた。誰にでも分かるように論理的に説明して下さい。

《会社》判決が有効な中、解決金と言う形でお支払いする合理的な理由はない。

【JHU】3年前の株主総会で、植木会長が「裁判のことは裁判、誠心誠意労働組合と話し合う」と発言している。

《会社》今やっている。

【JHU】今の発言は会長発言を否定している。

《会社》提案もしている。

【JHU】提案ではない。あなたは植木会長の発言を守る立場にある。

《会社》時間だ。

【JHU】「辞めていった社員がいる」「関係者に多大な迷惑をかけた」から解決金が払えないと言っているのは会社だ。誰もが分かるように論理的に説明する責任、義務は会社にある。そのことを伝えておく。

<まとめ>

【JHU】次回の団交を早急にセットするよう求める。併せて、業務委託に係る事務折衝、質問がたくさん残っているので、事務折衝も至急セットするよう求める。

《会社》以上で終わる。

**JAL 被解雇者労働組合(JHU)は、解雇争議の早期
全面解決をめざし、引き続き全力で取り組みます！**